

(部局名:会計管理局)

1.部局としてのアウトソーシングの方針 (重視する効果や、大きな課題などを主題にしてください)

1.総務事務センター

組織立ち上げ直後であり、現在、センターの円滑な運営ができるよう業務改革推進室と連携し準備に万全を期しており、アウトソーシングについて検討するまでには至っていない。

将来的には、管理 認定業務等を除いて、アウトソーシングが可能であると考えているので、システム稼働後1年間を経過した平成20年度に平成21年度以降の検討を行う。

2.これまでの状況 (スリム化分を除く)

現実施計画でのアウトソーシング率		29.6%
H17～18 発注済件数	アウトソーシング推進関連	4件
	地域版アウトソーシング	-
H19 予算件数	アウトソーシング推進関連	2件
	地域版アウトソーシング	-
特記事項 (課題の克服など)		事務改善の観点から、財務会計システムの機能拡充を図り、旅費システム及び物品管理システムと連結させ、旅費及び物品の公金振替の自動化を図った。

3.重点的に取り組むアウトソーシング業務とその概要

(1)取り組む業務 (又は分野)

(2)当面の課題

(3)進め方や年次の計画など